

6. 生態系

表 6-1 当該地区（止水環境）で確認されている種の一覧（希少種）：平成 14 年度調査

類	科	種	指定状況		生育・生息環境	旧流路止水環境の保全・創出	旧流路の流水化	乾燥化
			環境省 RDB	埼玉県 RDB				
哺乳類	ネズミ科	ホンドカヤネズミ		NT	ヨシ、オギなどに球巣を作り生息する。			
	イヌ科	ホンドタヌキ		RT	樹林地から田畑及び住宅地近くまで生息する。			
		ホンドキツネ		RT	農耕地や森林、原野、集落地が混在する環境を好む。			
	イタチ科	ホンドイタチ		RT	農漁村を好む。			
	ウサギ科	キュウシュウノウサギ		RT	食物となる植物が多く、隠れ場所の多い林や草原を好む。			
鳥類	タカ科	オオタカ	VU	VU	生態系上位種としてまとまった自然環境に生息し、樹林地の改変などにより生息環境に対する影響が懸念される。			
		ツミ		NT				
		ノスリ		NT				
		サシバ		EN				
	ハヤブサ科	チョウゲンボウ		NT				
	クイナ科	バン		NT	開放水面を餌場とする。			
	フクロウ科	コムズク		NT	生態系上位種としてまとまった自然環境に生息し、樹林地の改変などにより生息環境に対する影響が懸念される。			
	カワセミ科	カワセミ		LP	開放水面を餌場とする。			
ウグイス科	ウグイス		RT	ササ藪をとまなう低木林、林縁などに生息する。				
アトリ科	ベニマシコ		RT	河川沿い、湿原周辺の灌木地、藪地等で繁殖する。				
魚類	メダカ科	メダカ	VU	VU				
貝類	モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ		NT	池の水域を生息環境としている。			
昆虫類	ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ		NT				
	スズムシ科	スズムシ		LP	草地、樹林地に生息。			
	キリギリス科	オナガササキ		LP	日当たりの良いイネ科の草地。			
	アメンボ科	エサキアメンボ	NT	NT	止水域の水面を生息環境としている。			
		ハネナンアメンボ		NT				
	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ		LP	樹林地や草地に普通に見られる。			
	ハナアブ科	ハチモドキハナアブ		NT	クヌギ林を生息環境とする。			
	セセリチョウ科	ギンイチモンジセセリ	NT	NT	ススキなど、イネ科の草地を幼虫期の食草とする。			
	アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ		NT	堤防などの草地にあるウマノスズクサを食草とする。			
	シジミチョウ科	ミドリシジミ		NT	食草は、ハンノキの若齢樹が主。			
タテハチョウ科	コムラサキ		NT	食草は、タチヤナギなどヤナギ類。				
クモ類	コガネグモ科	コガネグモ		EN	典型的な里山のクモ。山のふもとで日当たりの良い水田や草地があり、餌となる昆虫が豊富な環境。			
植物	ウキゴケ科	イチョウウキゴケ	CR+EN	CR+EN	水田や池の水面に浮遊する。			
	ユキノシタ科	タコノアシ	VU	VU	水際など氾濫原の植物として、水辺や水田周辺に生育。			
	バラ科	ナガボノシロワレモコウ		NT				
	トウダイグサ科	ノウルシ	VU	NT				
	ヒシ科	ヒシ		EN	水域の浮き草。			
	セリ科	エキサイゼリ	EN	CR	水際など氾濫原の植物として、水辺や水田周辺に生育。			
	シソ科	ミゾコウジュ	NT	VU				
	キク科	カワランジン		EN				
		フジバカマ	VU	EN				
ミクリ科	ミクリ	NT	VU	止水域の浅瀬を生育環境とする。				

現在、太郎右衛門自然再生地で確認されている希少種のうち、止水（湿地）環境に依存している種は止水環境を保全・創出することによって現状維持あるいは増加が望めます。

流水化すると、現在の止水環境に依存する種はその生息環境が減少すると考えられます。

しかし、旧流路を本川と連続性（段差がない）を持った流水環境とした場合、本川の魚類が旧流路内に生息できるようになると考えます。また出水等により周辺高水敷が攪乱を受けるような場合、ハンノキ林などが自然に更新される氾濫原の環境が復元されることが期待できます。

現状の乾燥化を放置した場合、湿地環境に依存する種の生息が困難になると考えられます。

樹林や乾燥草地に依存する種に関しても、樹林地や草地のほとんどが民有地にあり、放置した場合、伐採やゴミの不法投棄などの影響による生息環境の悪化が懸念されます。

・環境省レッドデータブック（環境省RDB）
植物（2000年）、哺乳類（2002年）、爬虫類・両生類（2002年）、鳥類（2002年）、無脊椎動物（2000年）魚類（2002）
<カテゴリー>
絶滅危惧 類（CR+EN）、絶滅危惧 A類（CR）、絶滅危惧 B類（EN）、絶滅危惧 類（VU）、準絶滅危惧（NT）、情報不足（DD）、絶滅のおそれのある地域個体群（LP）
・埼玉県レッドデータブック（埼玉県RDB）
植物（1998年）、動物（2002年改訂）
<カテゴリー>
環境省レッドデータブックに準じる。
但し、地帯別危惧種：RT

■ 生息の維持又は改善が見込まれる種
■ 生息の維持又は改善が困難となる種
■ 止水環境・流水環境に依存しない種

注）希少種の位置情報については、貴重種保護の観点から、原則として公開しません。